

“近代”戯曲を読み直し、“現在”の問題を見つめ直す。
演劇史に綺羅星のように輝く戯曲から、そうでない戯曲まで、
何が語られ、何が見捨てられてきたのか。
新たな発見を求めて、戯曲を「読み」、そしてシンポジウムで「語る」。

菊池寛を読む！

◎ 第十一回 日本の近代戯曲研修セミナー in 東京 ◎

全7回の《研修》と2日間の《リーディング&シンポジウム》開催!!
明治以降の劇作家が新たな演劇を求め、何に挑んだかを探る。

研修日(全7回)

研修の様子を見学できます。また、議論への参加も歓迎します。
料金: 各回500円(テキスト代は別途実費の場合あり) ※協会員は無料

◆8月16日(土)15:00~21:00「戯曲に触れる・作家を知る」
会場 = 芸能花伝舎

※19:00~レクチャー「菊池寛と近代演劇」 ゲスト: 片山宏行(菊池寛研究)
まずは課題戯曲を声に出して読んでみることで、作品の言葉に触れると同時に、それぞれが
戯曲あるいは作家に対しての課題を持ちよりそれについて議論する。
続けて、菊池寛研究者である片山宏行さんをお招きしてレクチャーを開催します。

◆8月21日(木)18:00~22:00「作家を知る2」 会場 = 未生文庫
一日目の研修から発展した形で、作家研究を行う。例えば、菊池寛の年表を見ながら、菊池寛の
人生を追いかける。菊池寛の文学的資質やその目標を探り、また、時代との関わりの中で、どの
ような変化が訪れているかを研究する。

◆8月26日(火)13:30~17:30「戯曲を読み込む」 会場 = 未生文庫
課題戯曲の精読を行い、戯曲の構造などを分析する。

◆9月2日(火)18:00~22:00「戯曲を読み込む2」 会場 = 未生文庫
※会場詳細は裏面に記載

以下の3日間はこれまでの研修成果をもとに、リーディング発表に向けて研修を重ねる。
(研修場所はお問い合わせください。各作品で場所が異なる場合があります。)

◆9月9日(火)13:30~17:30 ◆9月11日(木)18:00~22:00
◆9月13日(土)10:00~17:30

ドラマリーディング&シンポジウム

9月14日(日)

15:00~ドラマリーディング
『藤十郎の恋』『敵討以上』
17:00~シンポジウム
パネラー / 片山宏行(菊池寛研究)

9月15日(月・祝)

15:00~ドラマリーディング
『藤十郎の恋』『敵討以上』
17:00~シンポジウム
パネラー / 大場正昭(演出家)

リーディング演出: 矢内文章(アトリエ・センターフォワード)、村井 雄(開幕ベナントレース)

研修参加者: 青井陽治、秋葉舞滝子、加藤明美、川口典成、黒川逸朗、篠本賢一、中村哮夫、林英樹、
由布木一平、大貫アイ、桂ゆめ、葛たか喜代、永野和宏、山城秀之(活動写真弁士)ほか

◎ 会場: 芸能花伝舎 ◎ 料金: 各回1500円(全席自由)
※協会員は無料 ※チケットをご購入の方は、シンポジウムには両日参加可能です。

文化庁委託事業「平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
主催 ◆文化庁 / 一般社団法人日本演出者協会 企画制作 ◆一般社団法人日本演出者協会



一般社団法人
日本演出者協会
JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎3F HP → <http://jda.jp/>
TEL: 03-5909-3074 / FAX: 03-5909-3075 E-mail: j_d_a_info@yahoo.co.jp
宣伝美術 / 前嶋のの 総合プロデューサー / 川口典成